

1. 科目名 (単位数)	社会科指導法 (2単位)	3. 科目番号	SJEL3431
2. 授業担当教員	荻原 邦昭		
4. 授業形態	講義、討議、レポート、模擬授業	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	小学校社会科の指導法に焦点化して、実践的な指導力を身に付ける。そのために、まず小学校社会科及び各学年(3年生以上)の目標と内容について、確実に理解する。次に、各学年の年間計画と各単元の指導計画の作成について具体的に検討する。さらに、これらの指導計画の学習をもとにして1単位時間の指導案づくりと模擬授業を行う。そして、これらの学習を通して、児童が社会的事象に興味・関心をもって、主体的に社会科授業に取り組み、確かな学力を身に付ける指導法について学修する。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育課程の基本的事項について理解し、その知識を活用できる。</li> <li>2. 学習指導要領の性格、教科書について理解し、教科指導法に向けて適宜参照できる。</li> <li>3. 学習指導要領の改訂の歴史について理解し、現代日本の教育課程を位置づけられる。</li> <li>4. 現行の学習指導要領の特徴を理解し、発展的に考察できる。</li> <li>5. 教育評価の基本的事項について理解し、各評価の意義を考察できる。</li> </ol>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【課題1】 講義中に作成した「学習指導案」と講義中に行う「模擬授業」※指導案は指定の用紙にて作成</p> <p>【課題2】 講義中に作成した「単元計画例」※指定の用紙にて作成</p> <p>【課題3】 期末レポート「子どもの主体的・対話的で深い学びの実現を図るための指導法の工夫を述べよ」 ※1,000字から1,200字程度で述べなさい。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 文部科学省『小学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版。</p> <p>【参考書】 文部科学省『小学校学習指導要領』東洋館出版社 小学校学習指導要領(平成29年3月告示 文部科学省)比較対照表 文部科学省『小学校学習指導要領解説 総則編』東洋館出版社。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 問題解決的学習について理解し、説明できるか。</li> <li>2 社会科の学習指導案の形式・内容について理解し、学習指導案を作成できるか。</li> <li>3 問題解決的学習を導入し、指導法を工夫して模擬授業を行うことができるか。</li> </ol> <p>○評定の方法 [授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業への積極的参加 総合点の30%</li> <li>2 課題レポート・作成した資料・討議 総合点の70%</li> </ol>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>小学校の社会科は、地域社会や我が国の国土、歴史などに対する学習を通して、社会的な見方や考え方を養い、そこで身に付けた知識、概念や技能などを活用し、社会との望ましいかかわり方、社会のなかでどう生きるのかを学ぶ教科である。しかし、いま子どもたちの「公意識」の欠如が指摘され、主体的な社会参画の必要性が大きな課題となっている。そこで教科の役割について改めて考え、社会科指導の充実を図ることができるよう本科目では、次の事柄を遵守することを期待する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 緊張感と集中力をもって受講する。</li> <li>2 質問、発表は積極的に行い、主体的に取り組む。</li> <li>3 欠席、遅刻、早退はしない。</li> <li>4 勝手な退室、講義と無関係な振る舞い、私語、居眠り、スマートフォンの操作などは慎む。</li> </ol> <p>教員は次のことを実行する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 講義のねらいを明確にし、シラバスに沿って講義する。</li> <li>2 声の大きさや話し方など受講者の立場に立って講義する。</li> <li>3 模擬授業、発表など受講者が講義に参加できる環境に配慮する。</li> <li>4 受講者の質問には誠実に対応する。</li> </ol>		
13. オフィスアワー	授業時間内に通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 社会科とは何か～社会科の歴史と領域 これまでの社会科学習の経験を踏まえ、社会科教育の目標を理解し、望ましい社会科指導法について考える。	事前学習	これまで経験した社会科の授業を想起し、教科書「社会編」の目標等を読んでおく。
		事後学習	本時の学習を振り返り、社会科教育の在り方を整理する。
第2回	楽しい社会科授業とは(問題解決的学習を中心に)社会科の指導法のあり方や課題について学び、意欲的で楽しい授業づくりを考える。	事前学習	社会科の指導法の一つである問題解決的学習について調べておく。
		事後学習	問題解決的学習を中心とする社会科指導の在り方を整理する。
第3回	社会科授業の事例(問題解決的学習) 問題解決的学習のすぐれた社会科授業の事例を全員で検討し、気付いたことを発表する。	事前学習	社会科の優れた実践事例を調べておく。
		事後学習	優れた事例のなかで取り入れたい箇所をまとめる。

第4回	単元計画例について 単元計画とは何か、その意義と作り方について考える。	事前学習	単元について調べておく。
		事後学習	単元計画はどのように作るか整理する。
第5回	単元計画例の作成と発表 各自選択した単元計画例の発表を行う。	事前学習	単元計画例の作成を準備する。
		事後学習	単元計画例の作成の意義について再確認する。
第6回	模擬授業の準備① 模擬授業の準備を行う。	事前学習	扱う本時を考える。
		事後学習	指導案をまとめる。
第7回	模擬授業の準備② 模擬授業の準備を行う	事前学習	模擬授業を構想する。
		事後学習	指導案をまとめる。
第8回	擬授業の実践①（問題解決的学習） 小単元の構想と本時が問題解決的な学習過程となっているかを踏まえた模擬授業を行い、相互評価を行う	事前学習	事前に送付された指導案に目を通す。
		事後学習	模擬授業を相互評価する。
第9回	模擬授業の実践②（教材の役割） 教材分析を行い、子どもに何を学ばせるのか明らかにし、教材の適切な選択を行った模擬授業を行い、相互評価を行う。	事前学習	事前に送付された指導案に目を通す。
		事後学習	模擬授業を相互評価する。
第10回	模擬授業の実践③（指導と発問） 指導上の留意点を理解し、本時の展開を構想し、主発問や補助発問を考えた模擬授業を行い、相互評価を行う	事前学習	事前に送付された指導案に目を通す。
		事後学習	模擬授業を相互評価する。
第11回	模擬授業の実践④（情報機器の活用） 情報機器の効果的活用を含めた指導案をもとに、模擬授業を行い、相互評価を行う	事前学習	事前に送付された指導案に目を通す。
		事後学習	模擬授業を相互評価する。
第12回	社会科における討論授業 社会科における討論授業のあり方を考え、その実践例を実践する。	事前学習	社会科で可能な討論例を考えておく。
		事後学習	討論の意義をまとめる。
第13回	社会科における主体的・対話的で深い学び 社会科における「主体的・対話的で深い学び」はどうあるべきか考察する。	事前学習	社会科における主体的な学習活動について考えておく。
		事後学習	主体的・対話的で深い学びについてまとめる。
第14回	社会科における思考力 社会科における「思考力・判断力・表現力」はどのように授業に具現化されるか考察する。	事前学習	授業中の場面について調べておく。
		事後学習	社会科における思考力・判断力・表現力についてまとめる。
第15回	社会科指導法のまとめを行う。 学習指導要領が目指す社会科指導のあり方を考える。	事前学習	模擬授業から得られたことを整理してくる。
		事後学習	社会科指導法で学んだことを今後どう生かすか、レポートを書く。